

〈博士後期課程〉

専門（共通）

問題 1 以下の各設問に答えなさい。（配点 28）

- 1) 質的記述的研究の目的と特徴を説明し、このデザインが適している研究テーマの例をひとつ挙げなさい。
- 2) 準実験デザイン（quasi-experimental design）とは何か、ランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial ; RCT）との違いに触れながら説明しなさい。
- 3) システマティックレビューについて、その方法論の透明性を高めるために 2009 年に提唱され、2020 年に改訂された報告ガイドラインの名称を答えなさい。

問題 2 研究計画を立案する段階に関する、以下の各設問に答えなさい。（配点 25）

- 1) 研究参加者に生じるリスクおよびベネフィットの評価のプロセスには、①多様なリスクとベネフィットの同定、②リスクの最小化、③リスクとベネフィットの比較衡量がある。それぞれのプロセスにおいて検討すべき事項を記載しなさい。
- 2) 認知症のある後期高齢者を対象とした研究を計画するにあたり、対象者の研究参加への同意に関して留意すべき事項を記載しなさい。

問題 3 下記の事例を読み、各設問に答えなさい。（配点 32）

〈事例〉

A 看護師（卒後 3 年目・内分泌代謝内科病棟勤務）は、日勤帯で B さん（60 代・女性、2 型糖尿病、血糖コントロール目的で入院中）を受け持っていた。B さんには、朝食前に速効型インスリンを血糖値に応じたスライディングスケールで皮下注射する指示が出されていた。

朝、A 看護師が B さんの血糖測定を行ったところ、血糖値は 182mg/dL であり、スケール表に照らすと指示は 4 単位であった。A 看護師は注射準備室でインスリン専用の注射器にインスリンを吸引していたところ、同僚看護師から「（別の患者である）C さんの点滴が終わりそうなので、更新していただけますか」と声を掛けられた。A 看護師は「はい、分かりました。すぐに行きます」と答え、インスリンを吸引した注射器を作業台に置き、C さんの点滴更新に向かった。

点滴更新が済んだ後、A 看護師は注射準備室に置いてあった注射器を手に取り、患者確認とダブルチェックをしないまま、B さんにインスリンを投与した。投与後、A 看護師は記録をしよう

としてスケール表を見直したところ、作業台に他の患者用に準備されていた 6 単位のインスリンが入った同型の注射器がもう 1 本置かれていたことに気づき、自分が B さん用のインスリンを投与したか自信が持てなくなった。

A 看護師はすぐにリーダーナースに報告し、B さんの状態観察（低血糖症状の有無、血糖再測定）を行うとともに、医師へ報告した。幸い、B さんに重篤な低血糖症状は見られなかったが、A 看護師によってインシデントレポートが作成され、事例検討が行われることとなった。

1) この事例における医療安全上の問題点について、①個人、②チーム・コミュニケーション、③環境、④システムの各要因で分析しなさい。

2) あなたの分析結果を踏まえ、各要因に対する再発防止策について具体的に記載しなさい

問題 4 看護学教育におけるコンピテンシー基盤型教育について、以下の各設問に答えなさい。

(配点 15 点)

1) コンピテンシー基盤型教育における「コンピテンシー」とはどのような能力を指しているか述べなさい。

2) コンピテンシー基盤型教育において、「知識の習得」だけでなく「実践的な能力の発揮」が重視される理由について 100～150 字程度で説明しなさい。